

血圧の測定について

ネクサバル®、レンビマ®、スチバーガ®、カボメティクス®及びサイラムザ®、アバスチン®等の分子標的薬を使用すると、治療前と比べて血圧が高くなる場合があります。血圧が高くなっても、多くの場合、自覚症状はありません。

しかし、血圧が高い状態が続くと、血管が硬くなり、脳卒中や心筋梗塞などを起こす危険性が高くなります。

ネクサバル®、レンビマ®、スチバーガ®、カボメティクス®、サイラムザ®、アバスチン®等の分子標的薬の治療中は、毎日血圧を測り、血圧の変化を観察しましょう。

血圧測定のポイント

測定時間

- ・ 血圧は、毎日測りましょう。
できれば朝と夜に測りましょう（1日1回の場合は朝が、おすすめです）。
- ・ 朝に測る場合は、起床後1時間以内、排尿後、食前、服薬前に測りましょう。
- ・ 夜に測る場合は、就寝前に測りましょう。

測定方法

- ・ 1～2分間、静かに座ってから測りましょう。
- ・ 心臓と二の腕が同じ高さになるようにしましょう。
- ・ 測った血圧は、ダイアリーや手帳（血圧手帳がある場合は血圧手帳）に記入しておき、受診時に担当医師にお伝えください。



測定時の注意

- ・ 測定前に、喫煙、飲酒、カフェインの摂取は行わないようにしましょう。
- ・ 1 機会の測定で、2 回続けて測定した場合は、平均値を記録してください。

急に血圧が上昇して、最高血圧が180mmHg以上、または、最低血圧が120mmHg以上になり、加えて、意識がもうろうとしたり、頭痛、めまい、吐き気などがある場合は、直ちにネクサバル®、レンビマ®、スチバーガ®、カボメティクス®等の分子標的薬の服用を止め、当院に連絡してください。

緊急の場合には下記へご連絡ください

兵庫県立西宮病院

TEL:0798-34-5151(代)

電話では、次のことをお知らせください。

- ①お名前
- ②診察券番号
- ③診療科
- ④主治医の名前
- ⑤化学療法を受けていること
- ⑥現在の症状